

第 51 回 日本 P T A 関東ブロック研究大会 千葉市大会
シンボルマーク表彰

【最優秀賞】 <シンボルマーク決定>



<最優秀賞作品の説明>

真ん中のつぼみは子ども、周りの花と葉は子どもを守る大人たち。

千葉市の花「大賀ハス」で表現しました。つぼみの色を青色にした理由は、青いつぼみは自然で作ることは不可能。でも「未来」では作ることができるようになるかもしれないという希望の意味を込めました。

原画デザイン

小 出 薫 美 さん

(平成 2 9 年度 新宿中学校 3 年)

【優秀賞(佳作)】



<作品の説明>

千葉市のシンボルの「モノレール・ハスの花」を入れて、千葉市を強調しました。モノレールは「過去から未来へ」つないで走っているという意味を込めました。

ハスの花は親子で支え合うことを表しました。

優秀賞(佳作) 安 田 七 海 さん

(平成 2 9 年度 みつわ台中学校 2 年)

【優秀賞(佳作)】



<作品の説明>

CHIBA-CITY とかかれた建物はポートタワーで、その周りを走っているのは千葉都市モノレールです。

モノレールは奥の方から上へ向かって走ることで、「現在からミライへ」ということを表しました。また、モノレールがポートタワーの周りを走ることで、「千葉市からミライへ」ということを表現しました。

田口 遥大 さん

(平成29年度 轟町中学校 1年)

【優秀賞(佳作)】



<作品の説明>

はすの葉っぱの中に、千葉市の有名なはすの花や稲毛の浜、そして、千葉市動物公園のレッサーパンダのふーた君。

あと、千葉都市モノレールなど、千葉市の魅力、いいところをたくさん詰め込んでみました。

清宮 桃香 さん

(平成29年度 稲毛中学校 1年)

【優秀賞(佳作)】



<作品の説明>

千葉市の花「大賀ハス」、千葉市の鳥「コアジサシ」、千葉港の波を表現しました。

大賀ハスは花びら一枚一枚が「親の愛情」を、コアジサシはその親に支えられ「未来にはばたく子供たち」を表しています。波は千葉市の6つの区をさし、はばたく子供たちを「見守る地域」を表しています。

池崎美誉さん

(平成29年度 花園小学校 6年)

【優秀賞(佳作)】



<作品の説明>

右側の黄色い人はスローガンの中の「優しさ」の象徴である「親の背中」。形は千葉市の「千」の形に近づけました。

中心の花は市の花である「大賀ハス」。また、親に大切に育てられ開花する花(子どもたち)をイメージしました。2つを囲む握手をした腕は、スローガンの「つなぐ」を表しています。配色は大賀ハスの花と葉の色です。

石本芳さん

(平成29年度 越智中学校 2年)

【入 選】

山 本 雪 斗 さん	土 気 中 学 校	1 年
相 馬 あかね さん	大 宮 中 学 校	2 年
大 塚 結 斗 さん	緑が丘中学校	1 年
奥 野 由 萌 さん	緑が丘中学校	1 年
眞里谷 育 さん	緑が丘中学校	1 年
四十物 紅瑠美 さん	幸町第一中学校	1 年
村 松 那 菜 さん	蘇我小学校	6 年
今 泉 陽 菜 さん	新 宿 中 学 校	2 年
松 本 乃 紀 さん	蘇 我 中 学 校	1 年
田 中 優 夢 さん	誉田東小学校	5 年

※ 順不同 平成 2 9 年度応募時点の在籍校および学年を記載

○応募者数 879 名（小学生 480 名・中学生 399 名）

○応募総数 881 点 ※複数応募・合作含む

○審査対象作品数 877 点 ○ご協力いただいた単 P 45 校（小学校 28 校・中学校 17 校）

<子ども達の思いに感動> 千葉市大会シンボルマーク審査委員会委員長 江波戸 正子

募集にあたり、ご協力いただきました先生方、PTA 役員の皆さん、そして考えて描いてくれたたくさんの子ども達に心より感謝申し上げます。作品が集まるか不安でしたが、881 点という作品を前にし、ほっとするとともに強く責任を感じました。親と子、友情、歴史と未来、千葉市への思いがあふれる素晴らしい作品ばかりで何度も胸が熱くなりました。その中に「私たちのために頑張っているお母さんの背中が大好き」という言葉がありましたので紹介させていただきます。

<シンボルマークの審査を終えて（総評）> 前千葉県教育研究会造形教育部会会長 平野 正春

まず、881 点もの応募があったことに純粋に驚き、PTA の皆さんの市 P 連に対してのご協力の姿勢を感じました。審査の感想ですが、作品に千葉市の特徴を表すものを取り入れながら、それぞれの思いがストレートにシンボルマークに表されており、大変充実した作品が多くありました。最優秀賞作品は、色合い・デザイン性が秀逸で、何より作品に込めた思いが素晴らしい作品でした。千葉市の PTA の結束を実感したコンクールでした。